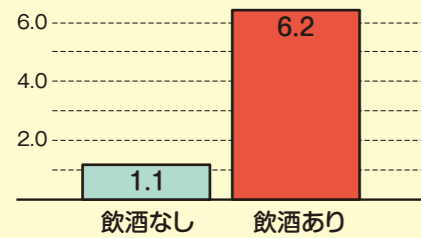


運動の重点 4

飲酒運転の根絶

■ 飲酒を伴う交通事故実態(過去5カ年)  
飲酒ありは、飲酒なしの約6倍

致死率(人身事故100件当たりの死者数)

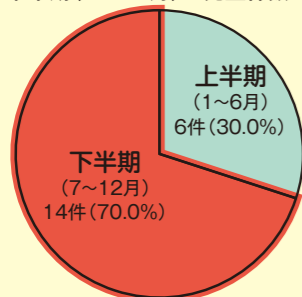


- 運転者の皆さんは**  
飲酒運転は悪質な犯罪であるとの認識をしっかりと持ち、二日酔い運転を含めた飲酒運転の根絶を図ろう。
- 家庭では**  
飲酒運転の悪質性や交通事故の悲惨な結果を話し合い、家族ぐるみで飲酒運転の根絶を目指そう。
- 職場では**  
企業の責任としてハンドルキーパ一運動を展開する等、飲酒運転の根絶を図ろう。
- 地域・町内では**  
酒類を提供する飲食店等では飲酒運転の危険性や悪質性を呼びかけ、飲酒運転の根絶を図ろう。

運動の重点 5

居眠り運転による交通事故防止

■ 平成24年の推定居眠り事故発生件数20件のうち、下半期(7~12月)の発生件数14件



- 運転者の皆さんは**  
長距離・長時間の無理な運転にならないよう2時間毎に1回以上の休憩をとろう。
- 家庭では**  
眠気を感じたら安全な場所で短時間の仮眠をとるなど、無理な運転は絶対にしないよう話し合おう。
- 職場では**  
居眠り運転となるような、無理な運行計画になっていないか確認しよう。
- 地域・町内では**  
街頭での啓発活動を通じて、居眠り運転や飲酒運転の防止を呼びかけよう。

交通事故でお困りの皆さん 交通事故相談所をご利用ください。

交通事故相談窓口

**■ 交通事故相談(無料)** 北海道庁1階  
 場所 電話 011-204-5220(直通) FAX 011-232-7452  
 電話 050-3533-4703(直通) ※IP電話のため、市外局番が011(札幌市、江別市、北広島市、南幌町)以外にお住まいの方はこちらにおかけいただきますと通話料金が割安となります。  
 E-mail kansei.dousei2@pref.hokkaido.lg.jp

利用時間等 相談時間は9:00~17:00 月~金曜日(受付9:00~16:30)

**■ 弁護士相談・巡回相談(無料)予約制**  
 場所 空知総合振興局 電話 0126-20-0044(直通) 渡島総合振興局 電話 0138-47-9435(直通)  
 上川総合振興局 電話 0166-46-5923(直通) オホーツク総合振興局 電話 0152-41-0783(直通)  
 釧路総合振興局 電話 0154-43-9151(直通) 十勝総合振興局 電話 0155-26-9249(直通)

受付時間等 月~金曜日(8:45~17:30) 各総合振興局の日程は「道民生活課」ホームページでご確認ください。 ※巡回相談のみ  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/kat/contents/ktindex.htm>



めざせ安全で安心な北海道

平成25年

秋の全国交通安全運動

9月21日(土)~9月30日(月)

北海道実施要綱



運動の重点

- 1 子どもと高齢者の交通事故防止
- 2 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 4 飲酒運転の根絶
- 5 居眠り運転による交通事故防止

[全道統一行動日] 9月21日(土)セーフティコール

[交通事故死ゼロを目指す日] 9月30日(月)

主催

北海道、北海道警察、北海道教育委員会、札幌市、市町村、公益社団法人 北海道交通安全推進委員会、一般財団法人 北海道交通安全協会、一般社団法人 北海道安全運転管理者協会

居眠り運転防止~2時間毎に休憩しよう。



デイ・ライト運動を実践しよう。



### 運動の目的

交通安全を自らのことと捉え、交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、道民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図る。

### 運動の進め方

道、道警察、市町村、関係機関・団体等は緊密に連携し、体系的かつ効果的な交通安全運動を展開するとともに、参加・体験・実践型の交通安全教育を積極的に推進する。

### 通年運動

#### 7大セーフティキャンペーン

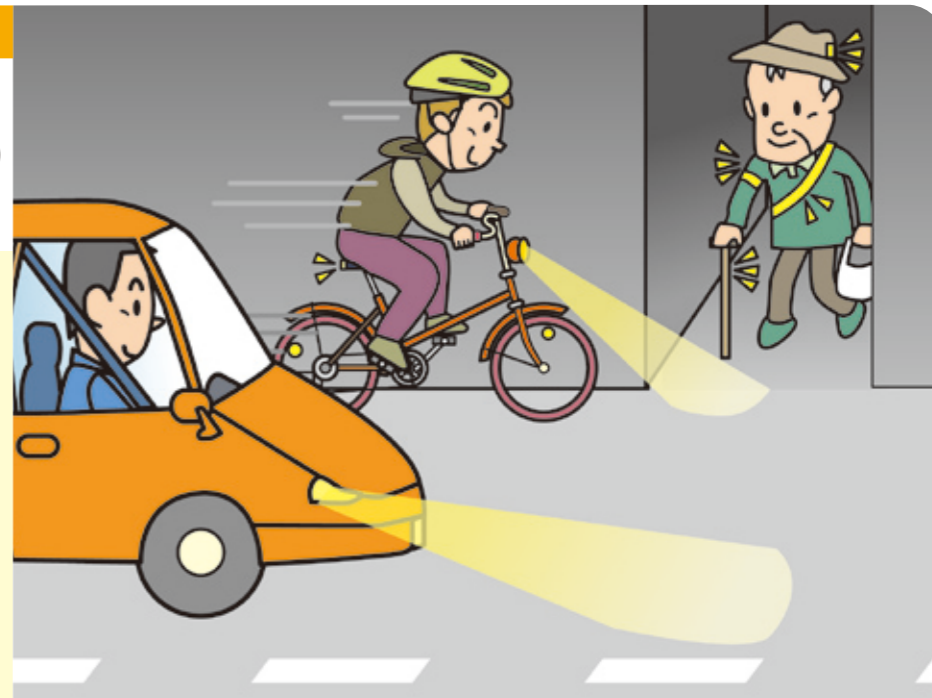
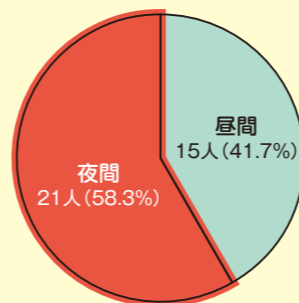
- 高齢者事故防止
- 自転車走行ルール・マナーアップ
- シートベルト全席着用
- スピードダウン
- 飲酒運転根絶
- 居眠り運転防止
- デイ・ライト実践



### 運動の重点 2

## 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

歩行中・自転車乗用中の死者数36人のうち夜間の死者数21人  
※平成24年下半期(7~12月)

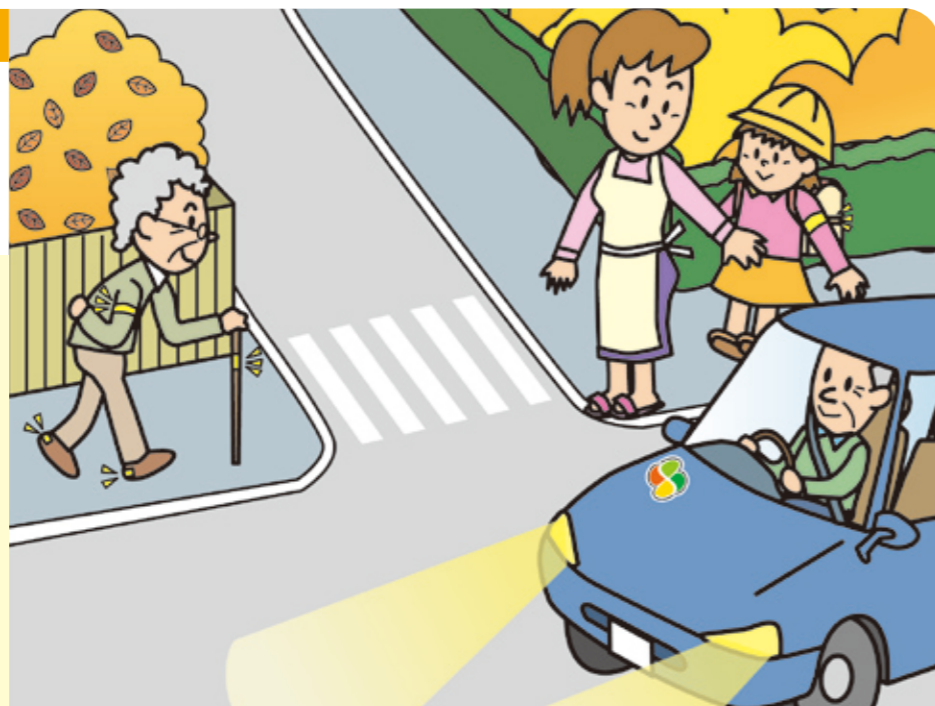
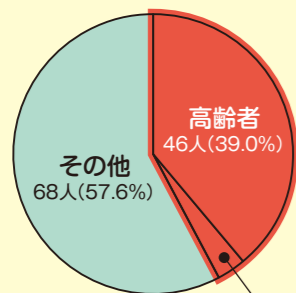


- 運転者の皆さんは**  
夕暮れ時から夜間には、歩行者等の発見がしにくくなるので、交差点では徐行し、しっかり安全確認しよう。
- 家庭では**  
夕暮れ時や夜間に外出するときは、明るい服装と夜光反射材を着用しよう。
- 学校では**  
自転車の通行方法や夜間における前照灯の点灯等、自転車の正しい利用の仕方自身につけさせよう。
- 職場では**  
早め点灯の実践を徹底しよう。
- 地域・町内では**  
夜光反射材の普及と着用を促進に努めよう。

### 運動の重点 1

## 子どもと高齢者の交通事故防止

全死者数118人のうち高齢者の死者46人・子ども(15歳以下)4人  
※平成24年下半期(7~12月)

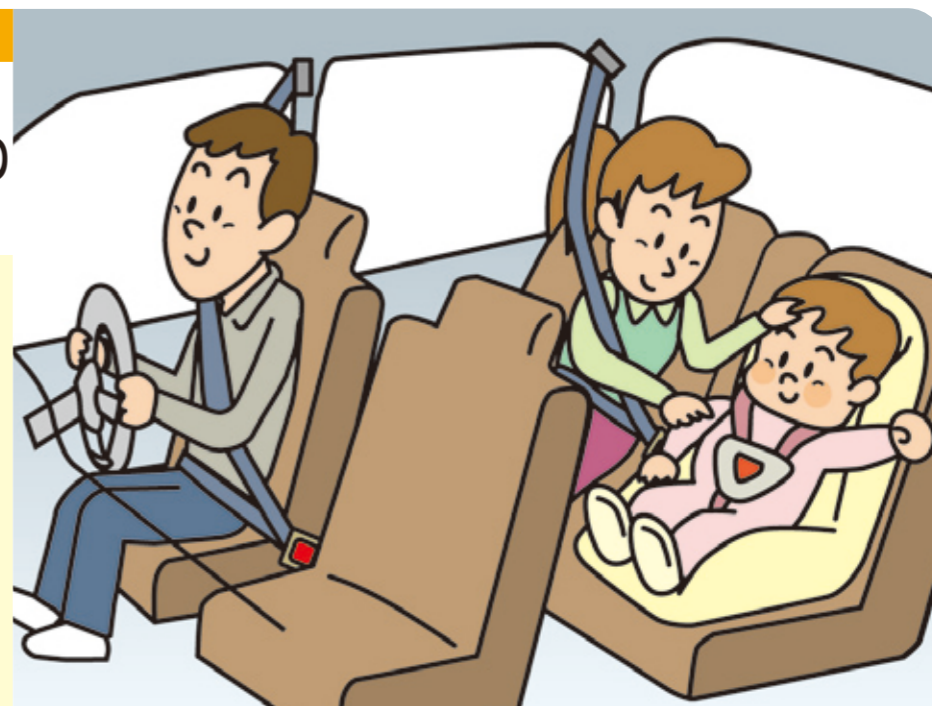
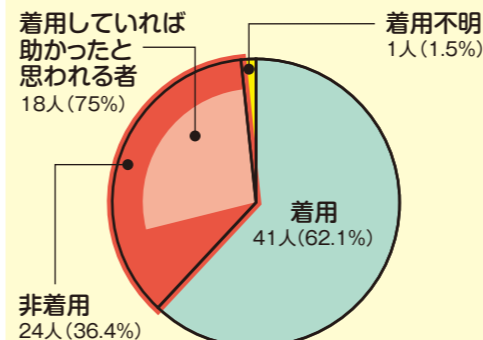


- 運転者の皆さんは**  
子どもの飛び出しや高齢者の横断に対応できる安全な速度で思いやりのある運転をしよう。
- 高齢者の皆さんは**  
参加・体験型の講習会等に積極的に参加して、自分の身体機能の変化を認識し、安全な行動を心がけるとともに、夜光反射材を身に付けよう。
- 家庭では**  
子どもや高齢者が外出する時は、車に注意して、安全確認をしっかり行うようにひと声かけよう。
- 学校では**  
基本的な交通ルールを理解させるとともに、登下校時の通学路での交通安全指導を徹底しよう。
- 地域・町内では**  
子どもや高齢者を見かけたから交通安全のひと声をかけるとともに、安全な横断を手助けしよう。

### 運動の重点 3

## 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

全死者数118人のうち自動車乗用中の死者66人  
※平成24年下半期(7~12月)



- 運転者の皆さんは**  
運転をする前に、同乗者全員がシートベルト・チャイルドシートを正しく着用しているか確認しよう。
- 家庭では**  
シートベルト非着用の危険性等について話し合い、必ずシートベルト・チャイルドシートを着用するよう習慣づけよう。
- 学校では**  
シートベルト・チャイルドシート非着用の危険性を理解させ、全ての座席での正しい着用を実践させよう。
- 職場では**  
職場全体で、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用を徹底しよう。
- 地域・町内では**  
街頭啓発等を通じて、全座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用について呼びかけよう。